

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認 2020年3月4日

東京都作業部会確認年月日 2020年3月19日

事業名 外注業者委託、大会運営費用

案件名 エネルギー業務運営及び関連工事監理業務等委託（その2） / エネルギー
業務運営委託

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意の通り、当該事業は会場関係の「エネルギーのインフラの整備」であり、都有施設、地方会場の経費については、都の負担。 大会時に継続して電源供給を実施するために必要なエネルギーの会場運営事業である。よって、大枠の合意に基づき、パラリンピック経費の 1/4 相当額を東京都が負担する事項と考える。 パラ経費の対象（算出方法は大枠合意に基づく）。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		大枠の合意において、経費分担にかかわらず、エネルギーのインフラ整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約大会運営要件で求められているエネルギー確保に必要な仮設電源の整備、運用を今後も実行していかなければならない。 本委託の目的は、各種計画の立案、検討とその更新や仮設電源設備整備工事の設計監修、施工監理を専門知識や経験を持つ業者に委託することで、仮設電源の整備、運用を遅滞なく低コストで遂行することである。 	開催都市契約大会運営要件 NRG04～08
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 委託料積算にあたっては、国交省の定める単価及び東京都積算基準の係数を用いて行っている。 業務量を考慮し必要人員数を積算している。人員数積算にあたっては、業務ごとにチーム編成し最小限で取り組む効率的な体制としている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 業務量に応じた必要人員数は過去大会と同規模であり、今後の業務計画、人員計画について IOC から承認を得ている。 必要となる業務量の精査により、業務委託全体の規模縮小を図ると共に、本委託により仮設電源費用のさらなる精査を行い、エネルギー費用全体の低減を図る。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なるものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた、仮設電源整備に関する工事監理や実施設計の進捗支援等のマネジメント業務であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 現時点では大会経費の都の枠内であることを確認できないため、組織委員会予算の執行とする。 	

* 公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。